



# 乙島っ子

令和4年度 NO. 19

令和4年10月18日 倉敷市立乙島小学校

## 「体験」を「体験」で終わらせないために…

学校では、総合的な学習の時間や学校行事など、「体験活動」が充実する時期を迎えています。ところで、「体験」と「経験」との違いとは何でしょう。辞書的には、「体験」は、「行動することそれ自体」で、「経験」は、「行動をした上で、知識や技能を身に付けること」とされています。では、「体験」を「経験」にしていくには、何が必要なのでしょうか。



4年生 総合的な学習の時間

車椅子体験



乗っている人のことを考えて…



押された感想と

押した感想の両方から



視覚障がい者へのガイドヘルプ体験



障がい者のことを思いやって…



手話体験…「亀」だそうです

4年生は、「障がい者福祉」について、まさに「体験」を通して学んでいます。児童は、これらの「体験」と、「感想」「ゲストの方へのお手紙」「レポート」等による「振り返り」によって、知識や技能を自覚し、身に付けていくのです。



4年生 図工

9/30 日本伝統工芸出張講座(備前焼)



ろくろ体験



とり持ち運転を

翌日の地方版でも紹介される…

4年生の図工の時間、備前焼の陶芸体験です。この「体験」で身に付けられる知識や技能は、何でしょう…。



10/11 スクールコンサート



10/10 コミュニティ体育祭

一球入魂玉入れ



「なぜ楽しかったか」を考えたい…

菓子食い(獲り)競争

「指揮を体験し、何が大切だったか」「体育祭は、なぜ楽しかったか」…それぞれの「振り返り」に期待しています。

※ カラー版を Web ページに掲載しています。ご覧ください。→[http://www.kurashiki-oky.ed.jp/otoshima-e/letter\\_3\\_2\\_2\\_4.html](http://www.kurashiki-oky.ed.jp/otoshima-e/letter_3_2_2_4.html)